

本時のねらい

事例の順序や分類に着目することで、筆者の説明の工夫を考えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートの「カード」「アンケート機能」と「提出箱」を活用する。
- ・アンケートを活用して、読者それぞれで考え方や感じ方が違うことを視覚的に捉えやすくする。
- ・考えや意見を「提出箱」を通して友だちと共有することで、文章構成や事例の順序の工夫について、考えを深めやすくする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC (iPad)
- ・電子黒板
- ・学習支援ソフト (ロイロノート)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○めあてを確認する。	・大豆食品の事例の写真をタブレット上で並び替えさせ、事例の順序性を意識させる。
展開 (30分)	○「すがたをかえる大豆」の事例の並び方について、筆者の意図について考え、交流する。 ○7段落の枝豆・もやしの事例が最後に書かれた理由を、8段落とつなげながら考える。 ○事例の分類や順序を通して、筆者が伝えたかったことは何かを考える。	・事前に事例の順序の予想をロイロノートのアンケート機能を使って集める。 ・アンケートの結果と理由を交流し、色や形、様子、加工の時間、かかる時間などの観点を共有する。 ・筆者が説明した事例の順番の意図を考え、理由をロイロノートのテキストカードに書き、交流させる。 ・電子黒板に8段落の文章を大きく提示する。
まとめ (10分)	○ふりかえりを書く。 提出箱に提出し、交流する。	・事例の順序や分類について気付いたことを書かせ、提出箱に提出させることで、筆者のさまざまな説明の工夫があることを理解できるようにする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



事前に行った、アンケートの結果を提示して、理由を交流している場面



筆者が事例をこの順番で説明した理由を考え、交流している様子



事例の順序や分類について気付いたことを書いて提出した様子

児童生徒の反応や変容

- ・アンケート機能を使って、児童一人ひとりが事例の順序の理由を予想することで、単元を通して、筆者がこの順で事例を説明した理由について考えながら読み深めることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・アンケート機能を活用することで、お互いの考えが違うことを視覚的に捉えやすくなった。また、「提出箱」を活用して、児童同士の考えを全体で共有し、考えを深めあう機会を増やしたことで、前時とのつながりを意識しながら一人ひとりの思考過程も細かく共有することができた。
- ・第3次では、Keynote で「食べ物みつカード」も作成した。事例の順序の入れ替えや文章校正、写真の挿入が簡単にでき、子どもたちで共有しやすくなった。